

迎春

仲嶺 真弓

新年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。

2017年、つばさっ子の新年の挨拶は、どの言葉から始めようかとしばらく考えあぐねていました。「あけまして…」や「謹賀…」が一般的なのだらうと思いつつ、かしまった言葉よりも、今年も保護者の方とは横並びに、子育てサポートの伴走者でありたいと思うので、友人や身近な人宛てに送る言葉「迎春」から書き始めることにしました。

2016年はいろいろな出来事を通して、これまでの自分の人生の中では考え及ばなかった問題とじっくり向き合わなければならないことが多かった年でした。同時にその問題について園外の人と話す機会も多い年でもありました。他者に自分の考えを発信し、他者の考えを聞き、そしてもう一度自分の考えを総合的に練り直す。いろいろな出来事が起こるたび、その作業を繰り返し、何が大きかを再確認した2016年でした。けれど、物事はこれで完璧ということはないので、繰り返し考え続けることが大切なのでしょう。2017年の春を迎え、2016年で掴んだことを土台にじっくりと腰を据えて考え続けていきたいと思っています。

今年もいい年になりますように。子どもも大人も健やかに、伸び伸びと安心して過ごせる毎日でありますようにと願い、2017年をスタートさせたいと思います。



ぞうぐみの子どもたちが文字を書き、飾りも作りました

【 12/22 (金) 祖父母交流会&クリスマス会 たくさんの参加ありがとうございました！！ 】

詳しい報告は、別ページに載せています。祖父母の方の感想も載せていますので、ぜひ読んでください。会の最初に園長挨拶で、「クリスマス会では子どもや職員がそれぞれの出し物をしますが、つばさ共同保育園では日頃の保育でも、“出来栄重視”ではなく、“子どもたちとこの時間をいかに楽しむかということ”を重視”しています。なので、今日のそれぞれの出し物も、間違いやずっこけシーンも必ずありますが、ぜひそれも含めて笑いに変えていただければと思います。今日一日、子どもたち、職員たちと一緒にクリスマス会を楽しんでください。」というお話をしました。その言葉通り、会の間中、祖父母の方の笑い声も絶えなかったことが何よりも嬉しく思いました。そして、終了後に心に残る一言をかけていただきました。「孫ではないぜんぜん知らない子が膝の上に座りに来てきて、そんな体験はなかったのととても嬉しかったです。」核家族化が定番になっている中、ほんのひとときでもそんな関わりあり、こんなあたたかいメッセージをいただけることに自分たちが目指すべきことが確かにここにあると実感できた瞬間でした。この感想を励みに、またいろいろなことに取り組んでいきたいと思っています。

バザー12/4 (日) 大盛況でした。カンパなどありがとうございました。

